

【第 55 回対策本部会議】 1 月 13 日

司会／昨日、初めて感染者が 30 人を超えた。九州各県でも、先週後半に福岡県 388 人、長崎県 60 人、熊本県 101 人、宮崎県 105 人と、過去最多を更新。福岡県では、12 月 23 日から 21 日連続で 100 人を超えており、佐賀県にも、その影響は及んでいる。

健康福祉部長／感染者の状況は、4 日の 23 人から昨日までの合計が 163 人、1 日の平均は 18 人。高い水準で、緊張感を持っている。

1 月 12 日 陽性者の内訳

家族 7 人、職場等 11 人、他県からの検査依頼 2 人、その他の接触者 2 人、新規 10 人。新規が 10 人とは、本県では多い。福祉作業所での 9 人、歯科医院でクラスターに当たる感染者数も確認された。

最近は、福岡由来が多く、鳥栖、基山で増加している。また、家族の感染も多い。家に持ち込まないように注意してほしい。

コロナ患者専用ベッドの利用状況

病床全体が 26.7%、ホテル使用率は 25.7%。まだ 75%の余裕があるとはいえ、スタッフの身体的、精神的負担が大きくなっている。今後も、医療関係者と連携をとりながら取り組む。

医療統括監／感染者数の推移。

今回は、人口 10 万人当たりの 7 日間の移動平均線のグラフ。東京、大阪を加え、九州で佐賀県より感染者数が少ない県は除いた。

年末あたりは、東京が群を抜いていて、人口 10 万人当たり約 13 人。本県は 2.3 人、福岡県は 5.9 人。8 日から 12 日を見ると、宮崎、長崎は若干下向き。佐賀は下がる傾向が見えない。予断を許さない状況であり、行動変容を求められている。

坂本副知事／今年に入り、感染者数が増えている。特に、家庭内感染が多い。そのきっかけの多くが福岡。福岡は、本日緊急事態宣言が発出される。福岡での会食、往来に注意すべきという認識でいいか。

健康福祉部長／家族内感染が、数が増えている理由の 1 つ。福岡由来が多く、最大限の注意が必要。

知事／県民の声もあり、比較しやすい人口当たりのグラフにした。

人口当たりにしても、東京が群を抜いて多い。その次が大阪、福岡、宮崎。次に熊本。その次に、

減少傾向の長崎。その下に、増加傾向の佐賀。

前回、ステージ 2 の現状から 3 に行くのか、1 に戻るのか、大きな分水嶺であると話した。残念ながら、3 が近づいている。

先週は、1 都 3 県由来の感染もあった。現在は、ほとんど福岡由来。福岡県と接する鳥栖市、基山町の感染者が多くなっている。東部の皆さんは、留意してほしい。

佐賀県の家族構成は多いので、1 人が感染するとそこから数が大きくなる。そうなると、医療機関やアパホテルに負担がかかる。増えだすときのスピードは、他県を見ていると明らか。佐賀県は、大きな分かれ目にいるという意識を皆さんと共有したい。

東京、神奈川は、保健所で追跡者を追う業務を制限した。佐賀県も厳しくはなったが、丁寧に保健所が追ってくれている。東京では、5000 人ほどが病院に入れられないらしいが、佐賀県で自宅療養者はゼロ。

この状態を続けていくためにも、県民の皆様に強くお願いしたい。

- ・福岡県との不要不急の往来は自粛してください。
- ・福岡県はもとより県外での会食は自粛してください。

通勤、通学を除く。

昨日の 32 人のうち、9 人は福祉作業所内で横に広がったもの。また、歯科医院内での感染報告もある。職員同士というのは、仲間意識で感染していないように考えてしまいがち。これが盲点。医療や福祉の現場で、休憩室や控室で気を緩めたときに、感染が広がるという例もある。職場で、マスクを外すときの意識を持つだけで、横への広がりを防げる。

佐賀県の感染者数の公表方式について。

方法は、都道府県によって違う。東京は、決まった時間で締め、1 日当たりの数を出す。佐賀県は、検査結果が出る都度発表しているの、時間とともに増えていく。まさに、その日の数字。しかし、現場の負担が大きいので、数字が落ち着いた段階で、1 日 1 回に切り替えるつもり。しばらくは、統計手法を変更せず、同じ方法で分析したい。

今日は、現時点で 9 人が陽性。新規が 4 人、接触者が 5 人。今日の数字もしっかり分析し、次の対策を打ち出す。

医療機関の皆さんは、積極的に PCR 検査、抗原検査を受けてほしい。早めに陽性が出たなら対応ができる。そのような状況にしていきたい。

医療機関、介護、保健、保育所、教育現場、事業所の皆さん方も大きな影響を受けていると思う。チーム佐賀・オール佐賀で乗り切っていきたい。

誹謗中傷は、決してあってはならない。体調が少しでも普段と違うときは、行動自粛をお願いする。佐賀県は、ここ何日間かが正念場。

県民の皆さん方のお力をお借りして、佐賀県を守っていきたい。

県民の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に感染された方や、その家族、濃厚接触者に対して、不当な差別や偏見があります。

佐賀県は慈しみ合う県。情報の詮索、不当な差別、偏見、いじめがないようお願いします。